

新たな学校づくりに関する学童保育クラブについて

1 制度面について

(1)一小学校区に一つの学童保育クラブ 継続

現在、町田市では一つの小学校区に一つの学童保育クラブを整備しています。今後もこの考え方を継続することとし、児童の安全確保や学校、地域との連携を図るため、学校が統合される場合、学童保育クラブも統合します。

(2)低学年児童(1～3年生)と障がい児の全入制度 継続

現在、市が定めた期間に申請した入会要件を満たす低学年児童と障がい児は全員入会することができ、今後もこの制度を継続していきます。高学年児童についてもニーズ等を踏まえて育成スペースを整備していきますが、施設定数以上の申請があった場合には現在と同様に選考を行い、保育の優先度の高い方から順次入会することとします。

2 施設整備方法について

(1)学校施設への複合化

児童の安全確保や学校、地域、放課後子ども教室「まちとも」との連携、施設管理のコスト削減等を図るため、小学校を新築する場合、学童保育クラブも一体的に整備(建築)します。その際の整備場所は、地域開放棟もしくは地域開放区画とします。

(2)整備方法の検討

保護者や児童、学童保育クラブで働く支援員のニーズを把握したうえで、児童により良い生活と遊びの場を提供できるよう、施設に必要な設備・機能等を検討します。

育成スペースについては、児童推計・高学年児童を含めた学童保育クラブに対するニーズを踏まえて、面積等を決定していきます。

3 管理運営方法について

保護者・児童のニーズを把握したうえで、現在の指定管理者制度による管理・運営方法の継続を前提として、複数の方法との比較により最適な方法を検討します。また、利用者の混乱が生じないように施設管理者の指定期間の調整等を行います。

4 安全・安心な登降所について

学童保育クラブは最大19時まで開所しており、冬季は降所時が暗くなります。夜間帯の通学路の点検を行うことで必要な対策を講じるなど、児童が安全に登降所できるよう、教育委員会と連携して検討します。

5 今後のスケジュール(予定)

学童保育クラブの施設整備方法・管理運営方法・登降所に関する課題については、以下のスケジュールで、教育委員会と連携しながら検討していく予定です。

2022年度							2023年度
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	ニーズ調査						基本実施 設計開始
	最適な管理運営方法の検討						
	最適な施設整備方法の検討						
	児童の安全、安心な登降所の検討						